

事務事業評価シート 平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

事務事業名		コード	43100 健康づくり運動推進事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別
基本施策		5	保健の充実	根拠法令	一般	10	5	2	☒ 主な事業
施策の展開		11	健康づくりの推進	戦略事業	51	健康づくり運動推進事業			☐ 国土強靱化地域計画
施策の展開				戦略事業					☒ 新市建設計画
									☐ 定住自立圏構想
									☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 9 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	【旭市総合体育館2階トレーニングルーム】 開館9時～21時まで、月曜休館。会員は設備を使用して運動できる。①有酸素運動(呼吸しながら普通に運動 例:ウォーキング、エアロバイクなど)、②無酸素運動(例:筋力トレーニング)ができる。専門知識の豊富な指導員のもと、一人ひとりの体力に応じたトレーニングメニューの作成や健康相談等も行っている。利用料金 ・市内1時間200円(月極2,000円) ・市外1時間300円(月極3,000円)で利用できる。1日最大3時間まで。高校生以上が利用可能。 【各種講座】 各種講座を開催して運動する習慣をつけ健康増進を図る。(H28年度:初級テニス教室、軽体操教室、レディースゴルフ教室、ヨガ教室、卓球教室、エアロビクス教室)
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
総合体育館の開館時に体力向上・増進を目的にトレーニングルームを設置した。 この有効利用に、専門的知識を有したトレーニング指導員を配置することとなった。	特に、50歳代以上の健康と体力増加等に関心のある世代の増加が目立っておりまた、若い世代の利用者も近年増加している。全体的な傾向としては、「自己を鍛える」から「体力の向上・維持」への移行が見られる。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
・利用時間を増やしてほしい・3時間以上使いたい・1日に2回使いたい・本格的にやるには物足りない・利用者間のトラブルがある・故障の修理に時間がかかる。(現在利用者登録は18,500人で、トレーニングルームの利用の上限は50人となっている。)	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算)		単位	千円	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
1. 報償金	450	スポーツ教室謝礼金	千円	400	400	450	450	455
2. 消耗品	276	各種消耗品	千円	279	280	252	276	280
3. 委託料	6,998	トレーニング指導員派遣委託料	千円	5,355	5,724	6,575	6,998	7,523
4. 借上料	3,135	トレーニング機器借上料	千円	2,841	2,844	3,135	3,135	3,749
5. 備品費	2,982	トレーニング機器購入	千円	2,299	3,387	3,501	2,983	3,305
② 特定財源の内訳(28年度の決算)		単位	千円	事業費計(A)	千円	11,174	12,635	13,913
1. 国庫支出金	0	1. 国庫支出金	千円	11,174	12,635	13,913	13,842	15,312
2. 都道府県支出金	0	2. 都道府県支出金	千円					
3. 地方債	0	3. 地方債	千円					
4. その他	1,960	スポーツ振興くじ助成金	千円	1,531	2,643	1,647	1,960	2,114
		5. 一般財源	千円	9,643	9,992	12,266	11,882	13,198

前年度増減理由	備品購入費の減少
---------	----------

従事職員数	常時	1人	最大	2人	×	7日	=	延べ	14人
-------	----	----	----	----	---	----	---	----	-----

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

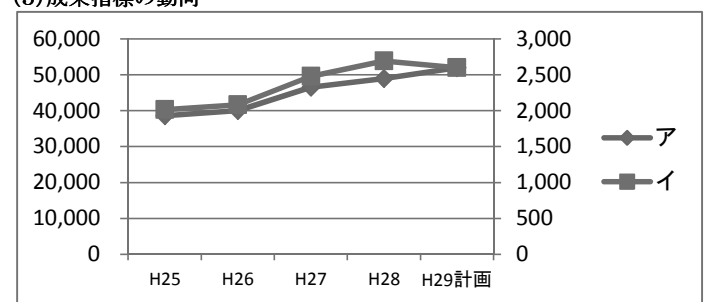
手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動) ・トレーニングルーム新規利用者講習会の開催 ・トレーニングルーム指導員による健康体力づくりセミナー開催 ・各種講座の開催(計6講座)		ア 講習会開催回数	回	267	265	269	255	270
			イ 各種講座開催回数	回	70	70	80	70	80
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	対象 トレーニングルームを利用する市民 意図 ・トレーニングルーム利用者が、定期的に運動を行い、自らによる健康管理と体力づくりを行う。 対象意図 ・日常生活において、運動するための知識を得る		ア トレーニングルーム利用人数	人	38,569	39,991	46,506	48,972	52,000
			イ 各種講座参加者数(延べ人数)	人	2,014	2,082	2,478	2,692	2,600

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			
	普通		⑤	
	小さい			

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
評価結果	①			
	②			
	③			
	④⑤	(4)		
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況		☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)		
② 成果の状況		成果指標ア 成果指標イ
【コメント】 (低下の場合、その理由)		数値増＝成果向上 ☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下 数値増＝成果向上 ☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下
③ 今年度取組事項 (29年度に取り組む主な事項について記載)		時期 内容 今後の方向性
平成29年9月 末までに		無酸素運動機器チェストプレス、ラットプルダウンの更新
		☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 廃止・休止 ☐ その他()
		比較 24年度 25年度 26年度 27年度 28年度
		ア 31 1,422 6,515 2,466 3,028
		イ 820 68 396 214 △92